



安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	08-2200-7	版	13.01
発行日	2024/01/17	前発行日	2023/03/27

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

MT1000, JA-7562

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

接着剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

2. 危険有害性の要約

GHS分類

有害区分に該当しない。

GHSラベル要素

注意喚起語

適用しない。

シンボル

適用しない。

ピクトグラム

適用しない。

注意書き

安全対策

P280E

保護手袋を着用すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
アクリレートコポリマー	営業秘密	60 - 70
水	7732-18-5	30 - 40
アクリル酸 2-エチルヘキシル	103-11-7	< 1.0
メタクリル酸メチル	80-62-6	0.15
酢酸ビニル	108-05-4	0.15

4. 応急措置**応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置**消火剤**

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。洗剤と水で残さを清浄にする。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

熱した材料に触れないこと。工業用又は業務用。消費者用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。指定された個人保護具を使用する。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
アクリル酸 2-エチルヘキシル	103-11-7	JSOH OELs	限界値は未設定	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
酢酸ビニル	108-05-4	ACGIH	TWA : 10 ppm、STEL : 15 ppm	A3: 動物発がん性物質
酢酸ビニル	108-05-4	ISHL(濃度基準値)	TWA(8時間):10 ppm;STEL(15分):15 ppm	25°C1気圧空气中
酢酸ビニル	108-05-4	JSOH OELs	限界値は未設定	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
メタクリル酸メチル	80-62-6	ACGIH	TWA : 50ppm、STEL : 100ppm	A4 : ヒトに対して発

				がん性物質として分類できない物質、皮膚感作物質
メタクリル酸メチル	80-62-6	JSOH OELs	TWA(8時間):8.3 mg/m ³	呼吸器感作性のおそれ。皮膚感作性のおそれ。

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

熱硬化処理を行う場合は適切な局所排気装置を使用する。 スプレーブースあるいは局所排気で使用する。 空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

熱危険性

やけどを防ぐため、この製品を取り扱う際は、耐熱手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	エマルジョン
色	白色
臭い	わずかなアクリル臭。
臭いの閾値	データはない。
pH	約 7 (単位表示なし)
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	約 100 °C
引火点	適用しない
蒸発速度	約 1 (単位表示なし) [参照基準: 水=1]
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	適用しない
燃焼点 (上限)	適用しない
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	<=1 [参照基準: 空気=1]
密度	データはない。
比重	約 1.07 [参照基準: 水=1]
溶解度	適用しない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	約 13,000 mPa-s
揮発性有機化合物	0 g/l
揮発分	30 - 40 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物**物質**

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

特段の規定はない。

特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報**ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。スプレーされた製品は眼を刺激するおそれがある。症状は発赤、浮腫、痛み、涙及びくもり目あるいはかすみ目など。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

その他健康影響情報**発がん性**

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
アクリル酸 2-エチルヘキシル	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
アクリル酸 2-エチルヘキシル	経口摂取	ラット	LD50 4,430 mg/kg
メタクリル酸メチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
酢酸ビニル	皮膚	ウサギ	LD50 2,320 mg/kg
メタクリル酸メチル	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29.8 mg/l
メタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	LD50 7,900 mg/kg
酢酸ビニル	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 11.3 mg/l
酢酸ビニル	経口摂取	ラット	LD50 2,920 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アクリル酸 2-エチルヘキシル	ウサギ	刺激物
メタクリル酸メチル	ウサギ	刺激物
酢酸ビニル	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
アクリル酸 2-エチルヘキシル	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸メチル	ウサギ	軽度の刺激
酢酸ビニル	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
アクリル酸 2-エチルヘキシル	ヒト及び動物	感作性あり
メタクリル酸メチル	ヒト及び動物	感作性あり
酢酸ビニル	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
メタクリル酸メチル	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
アクリル酸 2-エチルヘキシル	In vivo	変異原性なし
アクリル酸 2-エチルヘキシル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタクリル酸メチル	In vivo	変異原性なし
メタクリル酸メチル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
酢酸ビニル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

酢酸ビニル	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
-------	---------	--------------------

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
アクリル酸 2-エチルヘキシル	皮膚	マウス	発がん性
メタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	発がん性なし
メタクリル酸メチル	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性なし
酢酸ビニル	経口摂取	多種類の動物種	発がん性
酢酸ビニル	吸入した場合	ラット	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アクリル酸 2-エチルヘキシル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.75 mg/l	妊娠期間中
メタクリル酸メチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2世代
メタクリル酸メチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2世代
メタクリル酸メチル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 450 mg/kg/日	妊娠期間中
メタクリル酸メチル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.3 mg/l	器官発生期
酢酸ビニル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 140 mg/kg/日	2世代
酢酸ビニル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 140 mg/kg/日	2世代
酢酸ビニル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 700 mg/kg/日	2世代
酢酸ビニル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.7 mg/l	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アクリル酸 2-エチルヘキシル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ラット	NOAEL 非該当	
メタクリル酸メチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
酢酸ビニル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
酢酸ビニル	吸入した場合	中枢神経系の抑制	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
アクリル酸 2-エチルヘキシル	吸入した場合	内分泌系 肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.75 mg/l	90日
アクリル酸 2-エチルヘキシル	吸入した場合	嗅覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.08 mg/l	90日

アクリル酸 2-エチルヘキシル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.75 mg/l	90 日
メタクリル酸メチル	皮膚	末梢神経系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	吸入した場合	嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	14 週
メタクリル酸メチル	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	14 週
メタクリル酸メチル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	経口摂取	腎臓および膀胱 心臓 皮膚 内分泌系 消化管 造血器系 肝臓 筋肉 神経系 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/day	2 年
酢酸ビニル	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	多種類の動物種	NOAEL 0.2 mg/l	104 週
酢酸ビニル	吸入した場合	心臓 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.1 mg/l	104 週
酢酸ビニル	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.07 mg/l	120 日
酢酸ビニル	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	3 月
酢酸ビニル	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2.1 mg/l	104 週
酢酸ビニル	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3.5 mg/l	3 月
酢酸ビニル	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 684 mg/kg/day	3 月
酢酸ビニル	経口摂取	造血器系 神経系 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 235 mg/kg/day	104 週
酢酸ビニル	経口摂取	免疫システム 呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 950 mg/kg/day	3 月
酢酸ビニル	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 235 mg/kg/day	104 週

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本 SDS の 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場

合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アクリレート コポリマー	営業秘密	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	1.71 mg/l
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	ニジマス	実験	96 時間	LC50	1.81 mg/l
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.3 mg/l
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.8 mg/l
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	ミジンコ	実験	21 日	EC10	0.85 mg/l
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	液状化	実験	30 分	EC20	>1,000 mg/l
メタクリル酸 メチル	80-62-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>110 mg/l
メタクリル酸 メチル	80-62-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>79 mg/l
メタクリル酸 メチル	80-62-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	69 mg/l
メタクリル酸 メチル	80-62-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	110 mg/l
メタクリル酸 メチル	80-62-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	37 mg/l
メタクリル酸 メチル	80-62-6	液状化	実験	30 分	EC20	150 mg/l

メタクリル酸 メチル	80-62-6	土壌微生物	実験	28 日	NOEC	>1,000 mg/kg (乾燥 重量)
酢酸ビニル	108-05-4	緑藻類	実験	72 時間	EC50	8.9 mg/l
酢酸ビニル	108-05-4	メダカ	実験	96 時間	LC50	2.4 mg/l
酢酸ビニル	108-05-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	9.2 mg/l
酢酸ビニル	108-05-4	ファットヘッド ドミノウ (魚)	実験	34 日	NOEC	0.551 mg/l
酢酸ビニル	108-05-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.2 mg/l
酢酸ビニル	108-05-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.32 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリレート コポリマー	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	実験 生分解 性	15 日	生物学的酸素 要求量	70- 80 %BOD/ThOD	EU Method C. 4-D Manometric Respirometry Test
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	実験 加水分 解		加水分解性半 減期 (pH7)	210 時間 (t 1/2)	40CFR 796.3500-加水 分解
メタクリル酸 メチル	80-62-6	実験 生分解 性	14 日	生物学的酸素 要求量	94 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
酢酸ビニル	108-05-4	実験 生分解 性	14 日	生物学的酸素 要求量	90 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アクリレート コポリマー	営業秘密	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	実験 BCF - 魚	28 日	生物濃縮係数	347	OECD305-生体濃縮度 試験
アクリル酸 2 -エチルヘキ シル	103-11-7	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	4.64	OECD 107類似法
メタクリル酸 メチル	80-62-6	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	1.38	OECD107 log Kow フ ラスコ振騰法
酢酸ビニル	108-05-4	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	0.73	

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意**国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第 182 号の 2

労働安全衛生法：令和 4 年厚生労働省告示第 371 号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
メタクリル酸メチル	メタクリル酸メチル	該当	該当
酢酸ビニル	酢酸ビニル	該当	該当

16. その他の情報**改訂情報**

セクション 8：作業環境許容値 情報修正。

セクション 8：OEL登録機関の説明 情報修正。

セクション 11：急性毒性の表 情報修正。

セクション 11：生殖毒性の表 情報修正。

セクション 11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。

セクション 11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。

セクション 11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。

セクション 12：成分生態毒性情報 情報修正。

セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正。

セクション 12：生態濃縮性情報 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。